

## 愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名： 名古屋大学医学部附属病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(令和5年5月1日現在)

## 1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕 吸入薬指導に習熟した複数の薬剤師	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	25	6	3
小児科	0	0	0
皮膚科	3	1	1
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	1	0	0

## 2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績 (令和4年度)			今後の予定 (令和5年度)			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	呼吸器内科	一般市民	日本アレルギー協会東海支部 第29回アレルギー週間市民公開講座	呼吸器内科	一般市民	アレルギー週間の行事として市民にアレルギーの啓発運動として市民公開講座を開催する。
		呼吸器内科	一般市民	名古屋市 ぜん息講演会 「どんな時でも基本はぜん息管理-コロナ時代の今だからこそ伝えたい-」 川部 勤 2023年2月20日(月曜日)・14:00~16:00 講演時間は90分 総合社会福祉会館(北区役所)7階(名古屋市北区清水4丁目17番1号)			
		呼吸器内科	一般市民	名古屋市 ぜん息教室テーマ「コロナ禍でのぜん息管理」 川部 勤 日時:2022年10月31日(月) 14:00~16:00 (受付13:15~) 会場: 熱田保健センター (熱田区役所内)			
		呼吸器内科	一般市民	愛知県公害保健福祉事業 呼吸教室講師 「気管支ぜん息と新型コロナウイルス~コロナ禍でのぜん息管理~」 2022年6月3日(金曜日)・13:30~15:30 日時:2022年6月3日(金) 13:30~ 講義1時間 場所:東海市芸術劇場 4階 中練習室1			
		耳鼻咽喉科	医師	Allergy Basic Seminar in Nagoyaにて呼吸器内科と合同で花粉症治療とCOVID-19についての講演を行った。			
		耳鼻咽喉科	医師	鶴舞耳鼻科会にて「アレルギー性鼻炎と頭頸部癌患者のQOL向上を目指して」による講演をおこなった。			

	耳鼻咽喉科	医師	令和4年度名大主催のアレルギー勉強会を開催した。			
	耳鼻咽喉科	医師	名古屋 ENT セミナーにおいて、難治性副鼻腔疾患に対する講義をおこなった。			
	皮膚科	医師	アトピー性皮膚炎とバリア機能について考える会にて、角層細胞間脂質と皮膚バリア機能についての講演を行った。			
	皮膚科	医師	第48回皮膚かたち研究学会にて、皮膚バリア機能と type2 炎症についての講演を行った。			
	皮膚科	医師	The 12th Asian Dermatological Congress にて、SDR9C7 plays a crucial role in skin barrier function という演題名の keynote lecture を行った。			
	皮膚科	医師	第52回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会のシンポジウムにて、表皮脂質異常に起因する皮膚バリア障害と皮膚炎症についての講演を行った。			
	他	呼吸器内科・薬剤部	気管支喘息患者・ACO患者と家族 吸入指導、PEF 指導、アクションプラン説明などの喘息教室を開催した。	呼吸器内科・薬剤部	気管支喘息患者・ACO患者と家族	吸入指導、PEF 指導、アクションプラン説明などの喘息教室を開催する。
人材育成	研修会等	アレルギー疾患治療チーム	病院教職員 アレルギー研修会（オンライン研修）：①食物アレルギー、②アナフィラキシー	アレルギー疾患治療チーム	病院教職員	アレルギー研修会（オンライン研修）開催予定
	他	呼吸器内科	薬学部学生 外来における喘息患者診療見学、実習を実施した。	呼吸器内科	薬学部学生	外来における喘息患者診療見学、実習を実施する。
助言指導	呼吸器内科	愛知県	愛知県公害認定審査会の委員	呼吸器内科	愛知県	愛知県公害認定審査会の委員
	呼吸器内科	名古屋市	名古屋市公害認定審査会の委員	呼吸器内科	名古屋市	名古屋市公害認定審査会の委員

### 3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（令和4年度）	今後の予定（令和5年度）
診療	（呼吸器内科） ・気管支喘息、ABPA、ACO患者診療（約400人） ・重症喘息患者診療（誘発喀痰による気道炎症評価など多面的な評価を行っている） ・喘息患者に対して専門薬剤師による包括的吸入指導を行っている。  （耳鼻咽喉科）	（呼吸器内科） ・気管支喘息、ABPA、ACO患者診療（約400人） ・重症喘息患者診療（誘発喀痰による気道炎症評価など多面的な評価を行う） ・喘息患者に対して専門薬剤師による包括的吸入指導を行う。

	<p>アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎の生物学的製剤を含む保存的治療とともに、難治例には内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行した。</p> <p>(皮膚科) アトピー性皮膚炎診療 (200 人)</p>	<p>(皮膚科) 左記実績人数と同数の診療を継続する。</p>
研究	<p>(呼吸器内科)</p> <p><u>原著論文</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. T. Tsukada, Y. Hasegawa, M. S. Al Farisi, M. Matsushima, T. Kawabe, M. Shikida, Analysis of Airstream Inside the Slip Joint of Tracheal Intubation Tube for Breathing Measurement, 電気学会論文誌 E, Vol. 143, 1, 6-12 (2023), DOI: 10.1541/ieejsmas.143.6</li> <li>2. Matsushima M, Tanihata S, Kusakabe J, Okahira M, Ito H, Yamamoto A, Yamamoto M, Yamamoto R, Kawabe T. Correlation of theophylline levels in rat exhaled breath and lung tissue after its intravenous injection. <i>J Breath Res.</i> 16 (3): 036003, 2022 doi: 10.1088/1752-7163/ac6b4b</li> <li>3. Y. Hasegawa, C. Shimohira, M. Matsushima, T. Sugiyama, T. Kawabe, M. Shikida, Development of MEMS Flow and Pressure Sensor Device for Detection of Extravasation at an Early Stage, <i>IEEJ TRANSACTIONS ON ELECTRICAL AND ELECTRONIC ENGINEERING</i>, (2022), DOI: 10.1002/tee.23706</li> </ol> <p><u>学会発表 (国際学会)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. T. Tsukada, Y. Hasegawa, M. S. Al Farisi, S. Hasegawa, <b>M. Matsushima</b>, T. Kawabe, M. Shikida, Wireless MEMS Thermal Flow Sensor System Integrated on Medical Mask for Emergency Medical Treatment, Asia-Pacific Conference of Transducers and Micro-Nano Technology 2022 (APCOT2022), Online, 29 May – 1 June, 2022</li> </ol> <p><u>学会発表 (国内学会)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Fuzuki Hayashi, Miyoko Matsushima, Hikaru Tsuzuki, Moeko Ohara, Nodoka Shimasaki, Ayumi Tajima, Hinata Taniguchi, Hina Kawashima, Sayaka Takagi, Nanami Yoshida, Tsutomu Kawabe. Effects of localization changes of caveolin-1 on Nrf2-HO-1 activation induced by quercetin. 第51回日本免疫学会, 2022.12.9 (2022.12.7-9) 熊本城ホール (熊本県) ポスター</li> <li>2. Hinata Taniguchi, Miyoko Matsushima, Sayaka Takagi, Moeko Ohara, Hikaru Tsuzuki, Nodoka Shimasaki, Ayumi Tajima, Hina Kawashima, Fuzuki Hayashi, Nanami Yoshida, Tsutomu Kawabe. Positive effects on selective autophagy by quercetin-induced heme oxygenase-1. 第51回日本免疫学会, 2022.12.9 (2022.12.7-9) 熊本城ホール (熊本県) ポスター</li> </ol>	

3. Nanami Yoshida, Miyoko Matsushima, Moeko, Ohara, Hikaru Tsuzuki, Nodoka Shimasaki, Ayumi Tajima, Hinata Taniguchi, Hina Kawashima, Sayaka Takagi, Fuzuki Hayashi, Tsutomu Kawabe. Synergistic effects of Toll-like receptor signaling on inflammation induced by silica nanoparticles. 第51回日本免疫学会, 2022.12.9 (2022.12.7-9) 熊本城ホール (熊本県) ポスター
  4. Hikaru Tsuzuki, Miyoko Matsushima, Ayumi Tajima, Moeko Ohara, Nodoka Shimasaki, Hinata Taniguchi, Hina Kawashima, Sayaka Takagi, Fuzuki Hayashi, Nanami Yoshida, Tsutomu Kawabe. Analysis of lymphocyte differentiation and proliferation in NC/Nga mice. 第51回日本免疫学会, 2022.12.7 (2022.12.7-9) 熊本城ホール (熊本県) ポスター
  5. Moeko Ohara, Miyoko Matsushima, Hina Kawashima, Hikaru Tsuzuki, Nodoka Shimasaki, Ayumi Tajima, Hinata Taniguchi, Sayaka Takagi, Fuzuki Hayashi, Nanami Yoshida, Tsutomu Kawabe. Modulation of proinflammatory responses by diazinon in mast cells. 第51回日本免疫学会, 2022.12.7 (2022.12.7-9) 熊本城ホール (熊本県) ポスター
  6. 小原萌恵子、松島充代子、佐藤光夫、伊藤浩明、川部 勤. 症状発現に関わるアレルゲンエピトープの探索. 第71回日本アレルギー学会学術大会, 2022. 10. (2022.10.7-9) 東京国際フォーラム (東京都)
- 都築 光、松島充代子、竹腰正広、谷口ひなた、小原萌恵子、島崎温香、田島歩実、佐藤光夫、川部 勤. 環境からのストレスに備えるケルセチンによる細胞保護作用の新規機序の検討. 第52回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会, 2022.6. (2022.6.18-19) 対面とウェブのハイブリッド開催 福井県県民ホール AOSSA (福井県) 口演 (オンライン発表)

(皮膚科)

原著論文

1. Yamashita Y, Takeichi T, Ishizu Y, Suzuki N, Tsuboi T, Matsuura K, Koizumi H, Muro Y, Akiyama M. Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis complicated with idiopathic thrombocytopenic purpura and sclerosing cholangitis showing eosinophilic infiltration. J Dermatol. 2022 Aug;49(8):e270-e271. doi: 10.1111/1346-8138.16399.
2. Nakahara T, Izuhara K, Onozuka D, Saeki H, Nunomura S, Takenaka M, Matsumoto M, Kataoka Y, Fujimoto R, Kaneko S, Morita E, Tanaka A, Hide M, Okano T, Miyagaki T, Aoki N, Nakajima K, Ichiyama S, Kido-Nakahara M, Tonomura K, Nakagawa Y, Tamagawa-Mineoka R, Masuda K, Takeichi T, Akiyama M, Ishiujii Y, Katsuta M, Kinoshita Y, Tateishi C, Yamamoto A, Morita A, Matsuda-Hirose H, Hatano Y, Kawasaki H, Tanese K, Ohtsuki M, Kamiya K, Kabata Y, Abe R, Mitsui H, Kawamura T, Tsuji G, Katoh N, Furue M. Exploring biomarkers to predict clinical improvement of atopic dermatitis in patients treated with dupilumab (B-PAD study). Clin Exp Allergy. 2023 Feb;53(2):233-238. doi: 10.1111/cea.14267.

	<p><u>国内学会</u></p> <p>1. Yuta Yamashita, Takuya Takeichi, Yoji Ishizu, Nobuaki Suzuki, Takashi Tsuboi, Kentaro Matsuura, Haruka Koizumi, Yoshinao Muro, Masashi Akiyama. EGPA Complicated with ITP and Sclerosing Cholangitis Showing Eosinophilic Infiltration. 第 121 回日本皮膚科学会総会, 2022.6.2 (2022.6.2-5) 現地開催と Live 配信による、ハイブリッド開催 国立京都国際会館 (京都府) 口頭</p>	
--	--	--

4. アレルギー疾患に関する特記事項 (独自の取り組み)

--